はじめに

「受験古文」の最終目標は、**「初見の古文の文章を辞書なしで読めて、問題が解けること」**です。
そのために必要な三つの要素は、**「文法・単語・読解のルール（古文常識・作品常識含む）」**です。
三つの要素のうち、「文法」と「単語」が古文の土台となるところです。
「古文ができない」、「読めない」という人のほとんどは、この「文法」と「単語」がきちんとできていません。
この講座は、その土台の一つである**「文法」をしっかり身につけるための講座**です。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学ぶ」という意味ではありません。
基本から説明をして、実際の大学入試の文法問題も解けるように構成しています。

他レベルの『文法講座』との大きな違いは、

●各チャプター時間が短時間〔チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。〕

●用例ごとの例文が豊富〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず。〕

●問題数が多い〔同じような問題でも、たくさん実施することにより、より記憶に定着させるため。〕

●大事なことは繰り返し説明〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる。〕

●丁寧にじっくり解説〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「ゆっくりじっくり確実に！」**の姿勢で。〕

あとは、テキスト解説部分の文字も大きく読みやすくしています。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

他の文法講座より講数が多いのは、前述（例文・問題数が多いが、じっくり解説）の理由からです。
よって、身に着く内容は「ベーシックレベル」でも、他の文法講座となんら違いはありません。
全24講をきちんと仕上げたとき、大学入試文法問題を解く力はもとより、
大学入試レベルの文章を読むための土台の力も、十分についています！

現時点で「古文なんて、何書いているのかさっぱりわからないから大嫌いだ」という人は、なんの問題もありません。
一番恐ろしい勘違いは、「古文なんて日本語なんだから、勉強しなくてもどうにかなる」と思ってしまうことです。
断言しておきますが、勉強しておかないと、絶対にどうにもなりません。
「古文＝日本語」だと思っている人がいるならば、**「古文＝外国語」**だというくらいイメージを変えましょう。
ただし、**コツさえつかめば**、外国語を学習するよりも**ずっと簡単に、ずっと楽に「点取り科目」にすることができる。**
それが、古文のオイシイところです。

本講座で文法のコツをしっかりをつかんで、是非、古文を得点源の科目にしましょう！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予復習・授業の受け方について

予習は一切不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に〔**例題**〕や「**問題**」がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。
「はじめに」にも記載した通り、各チャプターは比較的短時間ですが、必然的に、講ごとのチャプター数は多いです。
よって、１日で１講を全て仕上げなくても、区切りのよいところで、日にちを分けて受講してもかまいません。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄に自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。

復習が終われば、各講の後ろにある「**復習問題**」を解きましょう。
復習問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。
万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「復習問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目次

第一講　歴史的仮名づかい／品詞／活用形／係り結びの法則……p.5
第二講　動詞⑴……p.18
第三講　動詞⑵／形容詞……p.32
第四講　語幹用法／形容動詞／音便／助動詞（活用）……p.45
第五講　助動詞（接続）／「ず」……p.56
第六講　「き・けり」／「つ・ぬ」／「たり・り」……p.65
第七講　「ぬ」・「ね」の識別……p.80
第八講　「る・らる」／「る」・「れ」の識別……p.98
第九講　「す・さす・しむ」／「せ」の識別／「まし」……p.114
第十講　「む・むず」／「らむ・けむ」……p.128
第十一講　「らむ」の識別／「じ」／「べし・まじ」／「まほし・たし」／「ごとし」……p.143
第十二講　２つの「なり」……p.160
第十三講　「なり」の識別／「めり・らし」／推量・推定の助動詞のまとめ……p.172

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　歴史的仮名づかい／品詞／活用形／係り結びの法則

★歴史的仮名づかい

●「あふみのうみ」「あうしうかいだう」とは何？

〈表記〉

（現代語→古文）

①じ→「ぢ」／ず→「づ」

（例）はぢ（恥(はじ)）／うなづく

②促音「っ」→「つ」／拗音「ゃ・ゅ・ょ」→「や・ゆ・よ」

（例）鳴つて（鳴って）／大将(たいしやう)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈読み方〉

（古文→現代語）

①　ゐ　→「　　」

（例）ゐなか（【　　　】）

②　ゑ　→「　　」

（例）ゑし（【　　　】）

③　を　→「　　」

（例）をさなき人（　　人【　　人】）

④　くゎ　→「　　」／　ぐゎ　→「　　」

（例）くゎんぱく（【　　　】）／　ぐゎんりき（【　　　】）

⑤　語頭以外の「はひふへほ」→「　　」

（例）かほ（【　　　】）／　＊月のひかり（月の【月の　　　】）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥　a＋う　→「　　」

（例）あうむ（　　【鸚鵡】）

⑦　i＋う　→「　　」

（例）かなしう（　　【　　】）

⑧　e＋う　→「　　」

（例）せうそこ（　　【　　】）／けふ（　　【　　】）

⑨　o＋う　→「　　」

（例）きのふ（　　【　　】）

※「あふみのうみ」→「　　のうみ（【　　の海】）」＝「　　」

「あうしうかいだう」→「　　【　　】」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　次のそれぞれの読み方を現代仮名遣いで書きなさい。

①　にほふ〔　　〕　②　ひとこゑ〔　　〕
③　をかし〔　　〕　④　ふさはし〔　　〕
⑤　とのゐ〔　　〕

問二　次のそれぞれの発音の仕方を、例にならってカタカナで書きなさい。

（例）　けふ　→　〔キョー〕

①　いふ〔　　〕　②　あふさか〔　　〕
③　てふてふ〔　　〕　④　しゃうじ〔　　〕

★歴史的仮名づかいにおける五十音図

ア行	あ		[う]		お
ヤ行	や		ゆ		よ
ワ行	わ		[う]		を

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★品詞＝十個（名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞）

〈自立語〉＝単独で文節を作ることができる語。

名詞…事物（人物・場所・物質など）の名前をあらわす語。➡「　　」

動詞…**動作**・**存在**をあらわす語。

形容詞…事物の**性質**・**状態**をあらわす語。「～　　」で終わる。

形容動詞…事物の**性質**・**状態**をあらわす語。「～　　」・「～　　」で終わる。

（形容詞・形容動詞）➡「　　」

副詞…用言を修飾する語。

連体詞…体言を修飾する語。

接続詞…文と文をつなぐ語。前後の文脈の関係をあらわす語。

感動詞…感動・呼びかけ・応答・掛け声などをあらわす語。

〈付属語〉＝自立語（や助動詞）に付いて、文節の一部として用いられる語。

助動詞…用言や体言などに付いて、意味を加える語。

助詞…自立語（や助動詞）に付いて、意味を添えたり、ことばの働きをあらわしたりする語。

（例）昔、男ありけり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★活用＝形が変わること

（例）「読む」を活用させて（　　）を埋めなさい。

読（　）ない
読（　）ます
読（　）。
読（　）とき
読（　）ば
読（　）！

★活用する品詞＝「**動詞**」・「**形容詞**」・「**形容動詞**」・「**助動詞**」

★活用形＝「**未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形**」

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
読む	ま	み	む	む	め	め

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）次の傍線部の活用形は？

読み終わる

※活用形を考える時は「　　　」を見る。

［　　　］⇐ 読み終わる

●［　（＝　・　・　）］の上は「　形」！

［　　　］⇐ 読む人

●［　（＝　）］の上は「　形」！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

活用形	下の語
未然形	**ず**（＝ない）
連用形	**用言・けり・たり**（完了）**・て・、**
終止形	。・」・引用の「と」
連体形	**体言**
已然形	**ど・ども**
命令形	。・」・引用の「と」

（例）

読まず。

読みけり。

読むと言ふ。

読みけれども…

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の傍線部の活用形をそれぞれ答えよ。

①　聞きしかど…

②　まうけられたりけり。

③　黄金ある竹を…

④　竹取の翁と[a]いふ者[b]ありけり。

a＝

b＝

⑤　「旅の心をよめ」と言ひければ…

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★係り結びの法則

〈係助詞〉

ぞ
なむ　〜「　　形」。
や
か

こそ　〜「　　形」。

（例）

名をば、さかきの造となむいひける。

あざ笑ひてこそ立てりけれ。

※まとめ

活用形を考えるときは「　　」を見る。ただし、「。」や「**カッコとじ**」の場合は、ざっと「　　」を確認して「　・　・　・　」があるかどうかを確認する。

あれば、**係り結びの法則**に気を付ける！　なければ、「終止形」か「命令形」。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　次の傍線部の活用形をそれぞれ答えよ。

①　いとどこそむつからめ。

②　塩尻のやうになむありける。

③　足ずりをして泣けども、かひなし。

④　恋ひつつぞ経る。

⑤　夜更くるまで寝ず。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講

①　歴史的仮名遣いの「ｅ＋う」の発音として、正しいものを次の中から選べ。

ア「オー」　イ「ユー」　ウ「ヨー」　エ「エー」

②　次の中から用言ではないものを選べ。

ア　動詞　イ　助動詞　ウ　形容詞　エ　形容動詞

③　体言の上は何形か。正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形
エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

④　「かはれども」の傍線部の活用形として、正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形
エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤「心得て、…」の傍線部の活用形として、正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形
エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

⑥「花をのみこそ尋ねつれ。」の傍線部の活用形として、正しいものを次の中から選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形
エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　模範解答

問一　① におう　② ひとこえ　③ おかし　④ ふさわし　⑤ とのい

問二　① ユー　② オーサカ　③ チョーチョー　④ ショージ

問三　① 已然形　② 連用形　③ 連体形

④ a　連体形　b　連用形　⑤ 命令形

問四　① 已然形　② 連体形　③ 已然形

④ 連体形　⑤ 未然形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講　模範解答・解説

〔解説〕

① 「e＋う」の発音は「ヨー」。よって、正解はウ。ちなみに、「a＋う」と「o＋う」が「オー」、「i＋う」が「ユー」。

② 用言＝動詞・形容詞・形容動詞。助動詞は用言ではない。よって、正解はイ。

③ 「体言」の上は「連体形」。よって、正解はエ。

④ 活用形を問われたら、まず下を確認する。「ども」の上は「已然形」。よって、正解はオ。

⑤ ④と同様に下を確認すると「て」。「て」の上は「連用形」。よって、正解はイ。

⑥ 活用形を問われた傍線部が文末の場合は、ざっと上を確認して係助詞の有無を確認する。「こそ」があるので「已然形」。よって、正解はオ。

〔解答〕

① ウ　② イ　③ エ　④ オ　⑤ イ　⑥ オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。